

## 6月の県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、東日本大震災ならびに原発事故の影響などにより、全体では引き続き厳しい状況にある。

### 1. 平成23年6月の県内経済

県内経済は、一部に持ち直しの動きもみられるものの、東日本大震災や原発事故による影響などから、全体では前年を下回る水準にある。

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品と家具・家電・家庭用品が前年を上回り、合計でも前年同月比+2.1%となった。一方、乗用車新車販売は、震災による影響が続き、合計で前年比△24.1%となった。

生産活動は、物流やサプライチェーン途絶の改善、生産設備の復旧が進捗しており、低水準ながらも持ち直しの動きがみられる。また、大口電力使用量も前年比△14.9%とマイナス幅が前月比で縮小した。

投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月ぶり、請負金額が10ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったが、持家と貸家が前年を下回り、合計でも7ヵ月連続で前年を下回った。

企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額とも2ヵ月連続で前年を上回った。

雇用情勢は、震災復旧関連の求人が増え始めてはいるものの、雇用保険受給者実人員が前年を大きく上回るなど、厳しい状況が続いている。

#### 〔消費動向・やや持ち直しの動き〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品と家具・家電・家庭用品が前年を上回り、合計でも178億68百万円（前年同月比+2.1%）と4ヵ月ぶりで前年を上回った。乗用車新車販売は、普通車、小型車、軽乗用車とすべての車種が大幅に落ち込み、合計では10ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、前月比△0.1%と2ヵ月連続で前月を下回ったが、前年比では+0.1%と3ヵ月連続で前年を上回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、震災による買換えや節電対応等の特需を中心に薄型テレビやBDレコーダー、エアコンなどの売上が前年同月を大きく上回った。また、ホームセンターも、震災特需や節電対策に関連する生活用品を中心に前年を大きく上回る売上となった。旅行取扱額は、夏季休暇を利用して国内外とも家族で長期滞在する傾向がみられ、合計でも前年を大きく上回っている。

#### 〔投資動向・減少〕

6月の公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月ぶり、請負金額と保証金額は10ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。5月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が2ヵ月連続、床面積と工事費予定額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。6月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったが、持家と貸家が前年を下回り、合計でも7ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔生産活動・やや持ち直しの動き〕

5月の鉱工業生産指数は、79.8（季節調整値）で前月比+18.9%と2ヵ月連続で前月を上回ったが、原指数は73.0で前年同月比△13.4%と3ヵ月連続で前年を下回り、改善がみられるものの、引き続き前年を下回る水準にある。6月の大口電力販売量は、前年同月比△14.9%と4ヵ月連続で前年を下回った。

〔企業倒産・悪化〕

6月の負債金額10百万円以上の企業倒産状況は、倒産件数が11件（前年同月比+57.1%）、負債総額が28億97百万円（同+38.5%）となり、ともに2ヵ月連続で前年を上回った。

〔金融動向・預金、貸出金増加〕

6月末の預金残高は前年同月比+10.1%と52ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は同+0.9%と2ヵ月連続で前年を上回った。

〔雇用動向・やや改善の動き〕

6月の新規求人倍率は、原数値が1.05倍（前年同月比+0.29ポイント）、季節調整値が1.04倍（前月比+0.25ポイント）と、季節調整値が37ヵ月ぶりに1倍を超えた。また、有効求人倍率は、原数値が0.51倍（前年同月比+0.13ポイント）、季節調整値が0.57倍（前月比+0.07ポイント）となった。一方、雇用保険受給者実人員は厳しさを映じて前年を上回った。

県内経済動向の概要

	項 目	前 年 同 月 比					
		23年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 0.8	0.2	▲ 23.1	▲ 12.7	▲ 5.2	2.1
	乗用車新車登録台数	▲ 22.3	▲ 14.2	▲ 60.2	▲ 38.4	▲ 34.0	▲ 24.1
	消費者物価指数（総合）	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.6	0.4	0.1	0.1
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 42.9	▲ 33.9	▲ 48.9	▲ 45.6	▲ 35.7	▲ 37.0
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 2.7	3.7	1.7	▲ 35.9	▲ 35.3	—
	新設住宅着工戸数	▲ 7.0	▲ 29.4	▲ 21.0	▲ 29.4	▲ 39.7	▲ 42.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	3.0	2.6	▲ 37.7	▲ 27.1	▲ 13.4	—
	大口電力販売量	6.4	8.2	▲ 40.2	▲ 37.1	▲ 21.4	▲ 14.9
企業倒産	企業倒産件数注2	20.0	▲ 66.7	▲ 30.0	▲ 40.0	240.0	57.1
	企業倒産金額注2	385.7	▲ 74.0	126.8	▲ 71.6	0.9	38.5
金融動向	預 金	2.5	2.0	2.6	6.0	7.5	10.1
	貸 出 金	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.5	0.3	0.9
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.15	0.15	0.11	0.10	0.09	0.13
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.16	0.08	0.09	0.03	0.02	0.29

注1 原指数 注2 負債総額10百万円以上

	項 目	前 月 比					
		23年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 13.9	▲ 15.7	▲ 13.7	10.5	10.6	2.0
	乗用車新車登録台数	22.7	22.1	▲ 25.3	▲ 21.6	2.3	45.7
	消費者物価指数（総合）	0.3	▲ 0.3	0.1	0.9	▲ 0.2	▲ 0.1
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 58.0	0.8	112.0	▲ 5.6	▲ 30.5	63.9
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 10.1	3.7	10.8	▲ 31.7	▲ 21.4	—
	新設住宅着工戸数	▲ 15.3	▲ 18.9	3.6	▲ 23.8	12.5	5.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	▲ 11.6	7.5	▲ 28.5	12.8	18.9	—
	大口電力販売量	0.9	▲ 4.7	▲ 40.5	7.6	20.9	15.3
企業倒産	企業倒産件数注2	71.4	▲ 75.0	133.3	▲ 14.3	183.2	▲ 35.3
	企業倒産金額注2	82.5	▲ 78.4	554.7	▲ 94.3	392.8	17.8
金融動向	預 金	▲ 0.8	▲ 0.0	0.8	4.0	1.5	3.7
	貸 出 金	▲ 0.3	0.0	0.4	▲ 0.8	0.2	0.6
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.03	0.00	▲ 0.01	0.00	0.02	0.07
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.11	▲ 0.13	0.03	▲ 0.05	0.05	0.25

注1 季節調整値 注2 負債総額10百万円以上

## 2. 県内経済動向

### 消費動向

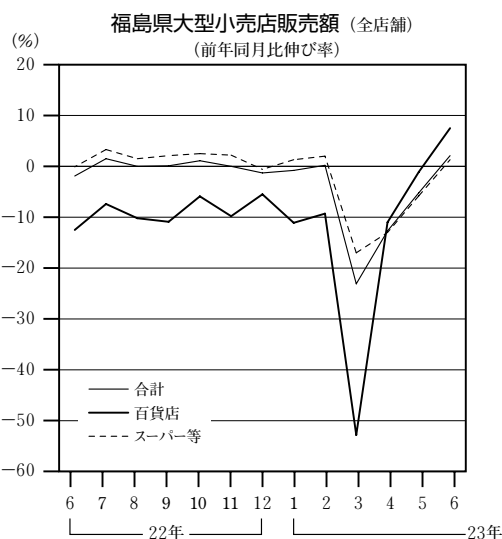
**大型小売店** 6月の県内大型小売店の販売額は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品と家具・家電・家庭用品が前年を上回り、合計でも178億68百万円（前年同月比+2.1%）と4ヵ月ぶりで前年を上回った。また、既存店ベースでも、前年同月比+6.0%と前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でもともに存在した事業所の数値。）

業態別にみると、百貨店は、主力の衣料品、飲食料品とも前年を上回り、全店舗ベースの合計では24億81百万円（前年同月比+7.5%）と46ヵ月ぶりに前年比で増加した。また、既存店ベースでも前年同月比+7.5%となった。

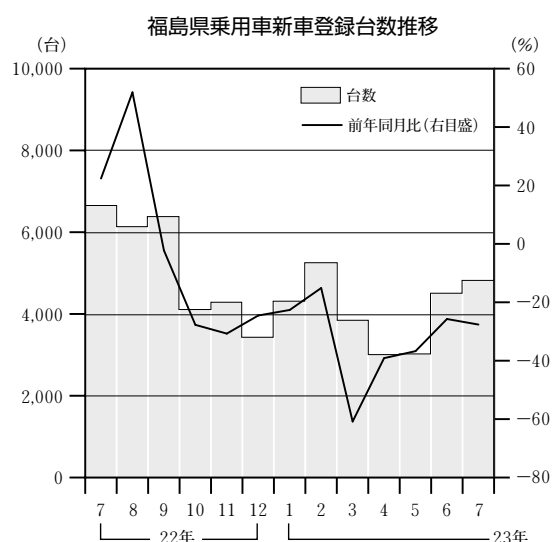
スーパーは、衣料品が前年割れしたものの、飲食料品や家具・家電・家庭用品が前年を上回り、全店舗ベースの合計でも153億86百万円（同+1.3%）と4ヵ月ぶりに前年を上回った。また、既存店ベースでも、前年同月比+5.8%となった。

**乗用車販売** 6月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,719台（前年同月比△24.1%）と部品調達の遅れによる自動車の低い生産水準や前年の減税効果による反動減もあり、10ヵ月連続の前年割れとなった。車種別でみると、普通車は1,449台（同△26.0%）、軽乗用車は1,618台（同△19.5%）と9ヵ月連続、小型車は1,652台（同△26.6%）と10ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

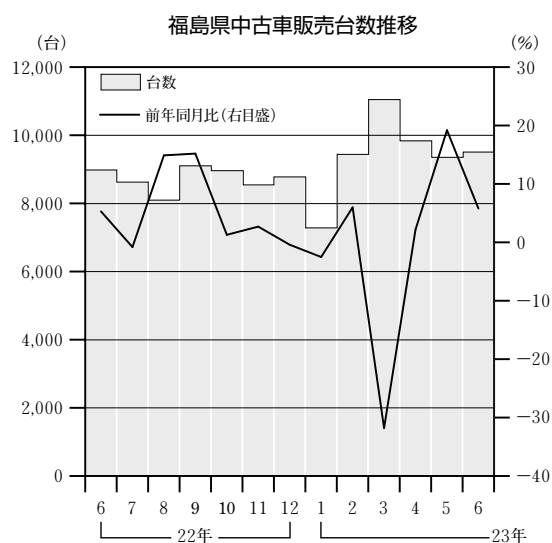
6月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で9,563台（前年同月比+5.8%）と3ヵ月連続で前年を上回った。車種別にみると普通車は2,867台（同+15.0%）と2ヵ月連続、小型車は3,579台（同+3.0%）、軽乗用車は3,117台（同+1.5%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



（資料：経済産業省）



（資料：㈱日本自動車販売協会連合会福島県支部）



（注）軽自動車は名義変更台数含む  
資料：㈱日本自動車販売協会連合会 福島支部  
㈱全国軽自動車販売協会連合会

**消費者物価指数** 6月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、99.9（前月比△0.1%）となり、2ヵ月連続で前月を下回ったが、前年同月比では+0.1%と3ヵ月連続で前年を上回った。

費目別にみると、「光熱水道」が110.4（前月比+0.2%）、「食料」が104.4（同+1.0%）と2費目が前月比で上昇した。一方、「被服及び履物」が101.7（同△1.2%）、「交通通信」が100.3（同△1.0%）、「教育」が82.1（同△1.0%）など6費目が前月比で下降した。

**家電量販店** 6月の売上状況は、震災による買換えや節電対応等の特需が依然として続いており、薄型テレビやBDレコーダー、エアコンなどを中心に前年同月を大きく上回った。

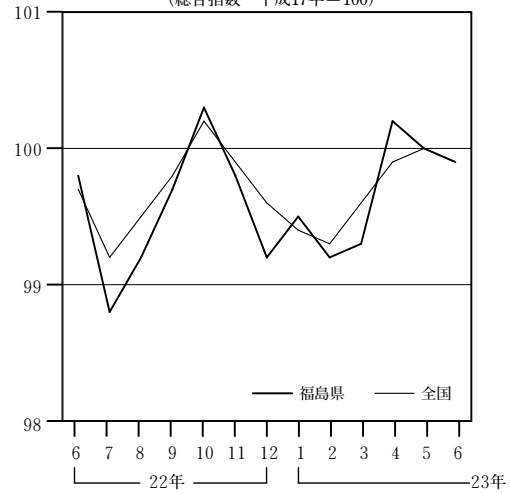
**ホームセンター** 6月の売上は、震災特需や節電対策に関連する生活用品を中心に好調となり、合計でも前年を大幅に上回った。

**旅行** 6月の旅行受付取扱額実績は、国内外とも夏季休暇を利用して家族で長期滞在する傾向がみられ、合計でも前年を大きく上回った。

**高速道路** 6月の県内自動車道出入口台数は、被災証明書および罹災証明書による利用料無料措置の影響もあり、合計で4,394,240台（前年同月比+21.5%）と2ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は、2,698,133台（同+25.3%）と2ヵ月連続で前年を上回った。また、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は、338,605台（同+39.5%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は、584,018台（同+13.5%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は773,484台（同+9.7%）となり、それぞれ4ヵ月ぶりで前年を上回った。

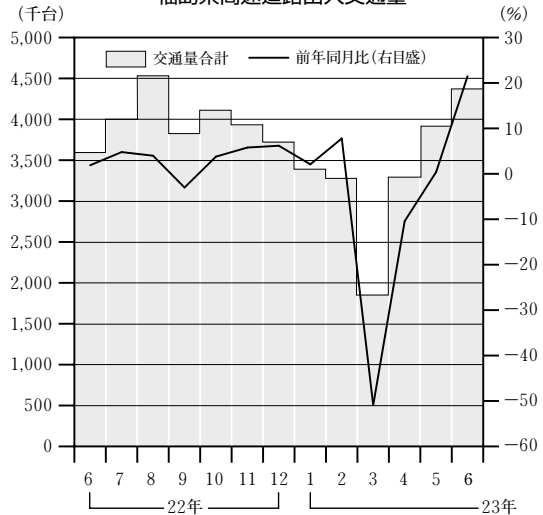
**福島空港** 6月の福島空港国内定期路線の利用状況は、18,177人（前年同月比+1.0%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は7,808人（同+0.7%）、大阪便は10,369人（同+1.2%）と

福島県消費者物価指数  
（総合指数 平成17年=100）



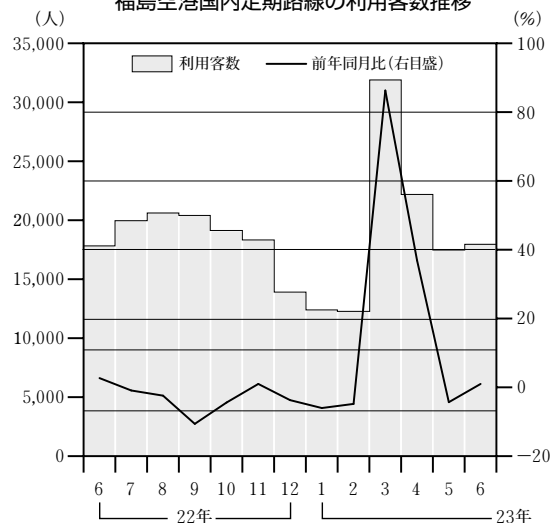
（資料：総務省統計局）

福島県高速道路出入交通量



（資料：東日本高速道路(株)東北支社）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



（資料：福島県商工労働部空港交流課）

なった。一方、国際定期路線については、ソウル便ならびに上海便とも、全便運休により、利用実績はなかった。

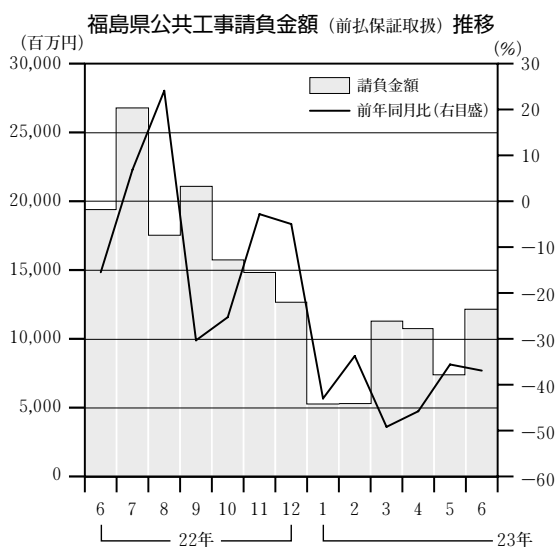
## —— 投資 動 向 ——

**公共工事** 6月の公共工事前払保証取扱は、件数が479件（前年同月比△30.1%）と2ヵ月ぶりに前年を下回った。請負金額は122億48百万円（同△37.0%）、保証金額は54億38百万円（同△23.0%）となり、それぞれ10ヵ月連続で前年を下回った。また、年度累計（2011年4月～6月）では、件数が986件（前年同期比△23.9%）、請負金額が304億62百万円（同△40.0%）、保証金額が128億29百万円（同△30.9%）となっている。主な発注者別の請負金額をみると、国が16億36百万円（同△22.2%）、県が47億93百万円（同△11.7%）、市町村が49億23百万円（同△44.0%）となった。

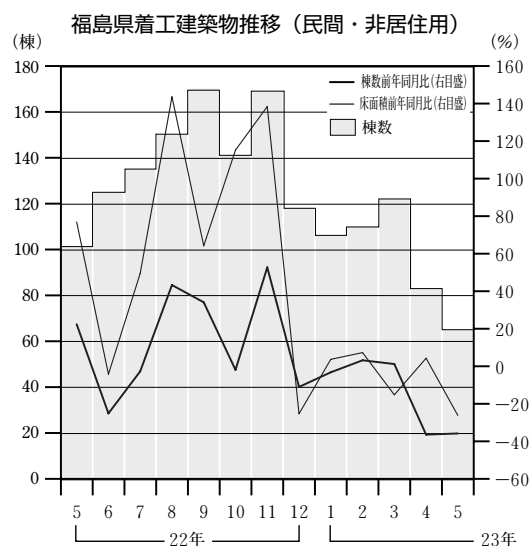
**設備投資** 5月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が66棟（前年同月比△35.3%）と2ヵ月連続で前年を下回った。また、床面積は27,061㎡（同△25.7%）、工事費予定額は44億31百万円（同△14.8%）となり、いずれも2ヵ月ぶりで前年を下回った。

5月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、514件（前年同月比△23.1%）と3ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は103件（同△12.7%）と3ヵ月連続で前年を下回った。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は411件（同△25.3%）と5ヵ月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は10件と前月比3件増加し、2ヵ月ぶりに前月を上回った。

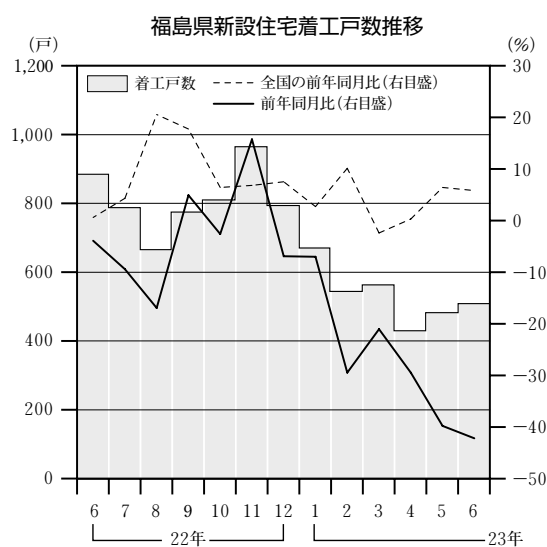
建築物着工の先行指標である5月の建築物申請件数は、543件（同△21.9%）と3ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は114件（同△21.4%）と4ヵ月連続で前年を下回った。4号建物は429件（同△22.0%）と3ヵ



(資料：東日本建設業保証(株))



(資料：国土交通省)



(資料：国土交通省)



月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は8件と、前月比3件減少し、3ヵ月ぶりで前月を下回った。

**住宅建設** 6月の県内新設住宅着工戸数は、512戸（前年同月比△42.1%）と7ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は370戸（同△28.3%）と5ヵ月連続で前年を下回った。また、「貸家」は96戸（同△71.3%）と3ヵ月連続で前年を下回った。一方、「分譲」は46戸（同+35.3%）と2ヵ月ぶりに前年を上回ったが、そのうちマンションの着工戸数は7ヵ月連続でゼロとなった。

—— 生産活動 ——

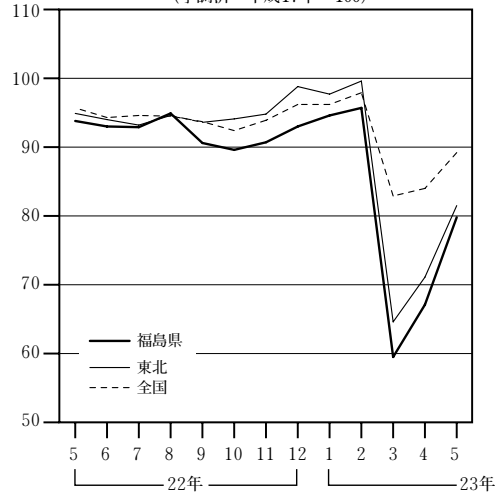
**鉱工業生産指数** 5月の鉱工業生産指数は、79.8（季節調整値）で前月比+18.9%と2ヵ月連続で前月を上回ったが、原指数は73.0で前年同月比△13.4%と3ヵ月連続で前年を下回り、県内の生産活動は改善傾向が窺えるものの、引き続き前年を下回る水準にある。

業種別の季節調整値は、食品・たばこ工業が56.5（前月比+155.7%）、パルプ・紙・紙加工品工業が69.7（同+89.4%）、輸送機械工業が73.7（同+57.8%）など13業種で上昇した。一方、一般機械工業が78.0（同△4.8%）、精密機械工業が96.3（同△4.8%）、非鉄金属工業が30.5（同△4.1%）など7業種が低下した。

**化学** 6月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂、金属代替プラスチック、医薬品の生産は、前月比では上向いているものの、一部の生産設備が復旧していないことから、総体で前年を2割程度下回っている。一方、酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）およびバリウム化合物（電子部品原料）は、生産設備、受注とも震災の影響から回復しており、当初計画通りの生産水準となった。

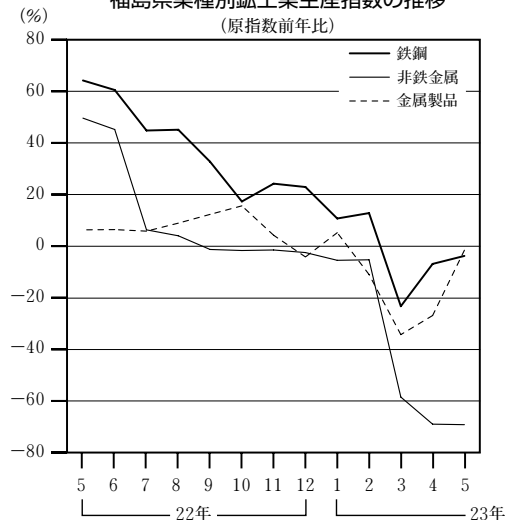
**鉄鋼・金属** 6月の伸銅品の生産は、半導体向け

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）  
（季調済 平成17年=100）



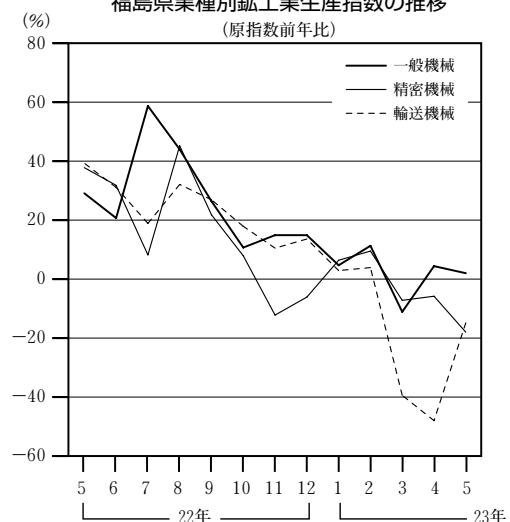
（資料：東北経済産業局）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：東北経済産業局）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：東北経済産業局）

電子材および自動車向け端子材とも、震災の影響による受注減から、前年を下回る水準にとどまった。建機用鋳造品は、アジア向けの安定した受注と復興特需による受注増から前年を3割以上上回る生産となった。また、陸船用バルブの生産は、生産設備も回復し、ほぼ前年並みの水準を確保した。一方、鉄道車両用鋳造品は、ほぼ前年並みの生産となった。

**輸送用機械** 6月のトラック用鋳造品の生産は、部品調達が正常化したことなどから、前年をやや下回る水準まで回復した。オイルシールの生産は、産業用機械向けの受注は回復基調にあるが、主力の自動車向け受注に回復がみられていないことから、総体では前年を10%程度下回った。カーナビおよびカーオーディオは、震災による部品調達の遅れや自動車メーカーの受注調整の影響がまだ残っており、前年を10%程度下回る生産となった。

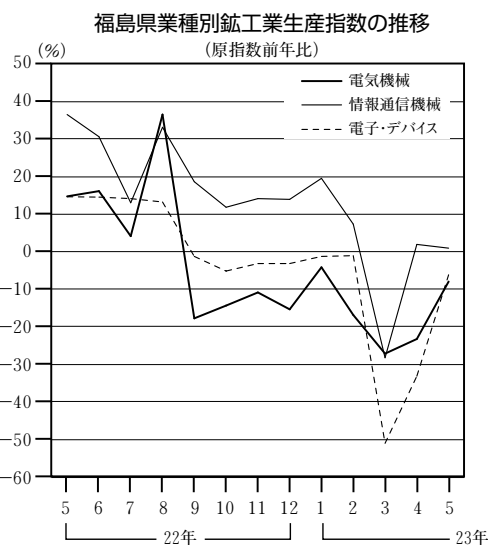
**電気機械** 6月の配電盤は、震災の影響による火力発電所の買い替え需要から、前年を大幅に上回る生産となった。一方、自動車モーターの生産は、自動車メーカーが生産水準を落としたため、前年を10%以上下回る水準となった。

**情報通信機械** 6月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器は、アジア向けを中心に受注を確保し、前年を上回る生産となった。

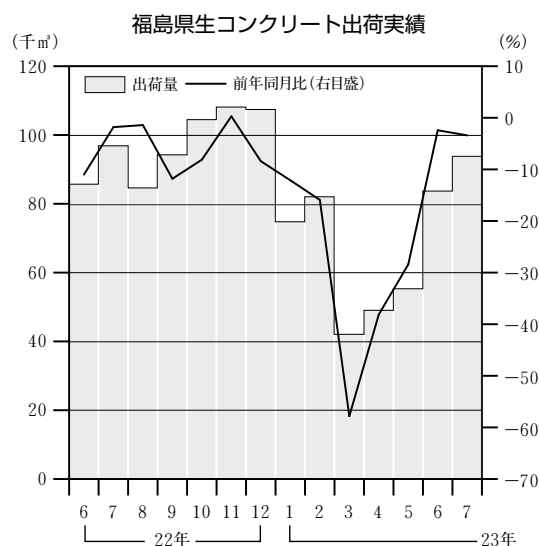
**電子部品・デバイス** 6月のLSI（大規模集積回路）の生産は、主力のAV・ゲーム機・家電および車載品向けの受注が震災による影響から前年を下回っており、全体では前年を2割程度下回った。

**精密機械** 6月の医療用内視鏡の生産は、部品調達面の影響から、海外向け中心となったが、前年を依然として下回る水準にとどまった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズの生産は、欧米向けが好調であり、前年を上回る水準で推移した。

**紙・紙加工品** 6月のダンボールの生産は、家電製品向けが堅調であり、ほぼ前年並みの水準で推移した。また、ノーカーボン紙および感熱紙は、



(資料：東北経済産業局)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)

生産設備も復旧しており、前年並みの受注量を確保している。

**窯業・土石** 6月の生コンクリート出荷量は、全体で84,252m<sup>3</sup>（前年同月比△2.4%）と7ヵ月連続で前年を下回った。地区別にみると、相双地区では、東日本大震災の影響から、官公需、民需とも大幅に減少した。一方、会津地区では医療機関の新築工事、県中地区では高速道路や庁舎新築工事などにより、前年を30%程度上回る出荷量となった。

**清酒** 6月の清酒移出数量は、1,289kl（前年同月比+10.0%）と3ヵ月連続で前年を上回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が558kl（同+40.2%）と3ヵ月連続で前年を上回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は、730kl（同△5.5%）と33ヵ月連続で前年を下回った。

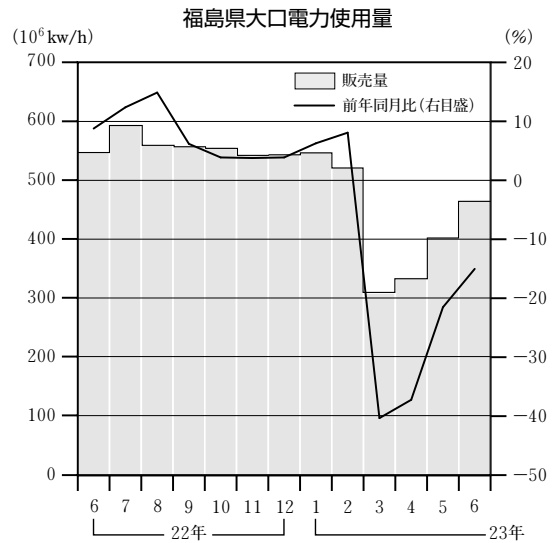
**合成繊維物** 6月のナイロンは、ダウンジャケットの表地向けが堅調だったのに加えて、震災による特需もあり、前年をやや上回る生産額となった。

**ニット** 6月のニットは、安定した受注量を確保しており、前年を20%ほど上回る生産となった。

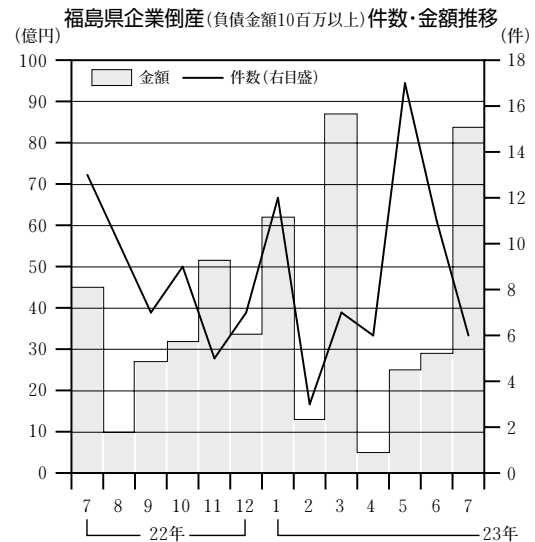
**大口電力** 6月の大口電力販売量は、467百万kw/h（前年同月比△14.9%）と4ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「電気機械」で90百万kw/h（前年同月比△11.2%）、「非鉄金属」で85百万kw/h（同△32.6%）、「輸送用機械」で57百万kw/h（同△4.7%）、「化学」で45百万kw/h（同△22.1%）、「一般機械」で26百万kw/h（同△4.4%）、「紙・パルプ」で14百万kw/h（同△7.0%）となっている。

## —— 企業倒産 ——

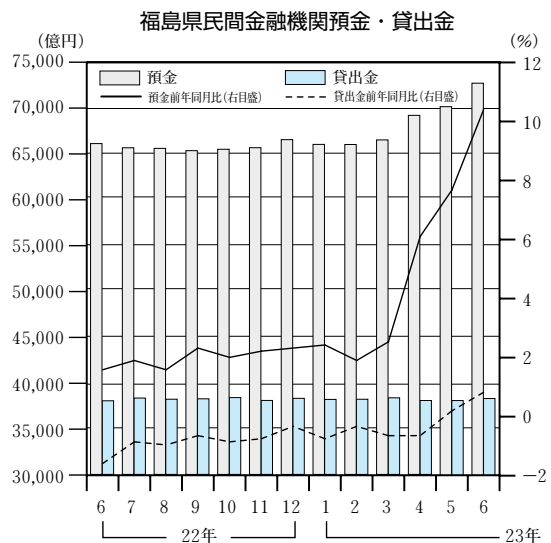
**企業倒産** 6月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が11件（前年同月比+57.1%）、負債総額が28億97百万円（同+38.5%）となり、



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)



ともに2ヵ月連続で前年を上回った。原因別でみると、11件すべてが受注・販売不振等不況型倒産であり、業種別では、小売業が5件、建設業とサービス業が2件、製造業と運輸・通信業が1件となった。

また、年間累計（2011年1月～6月）でみると、倒産件数が56件（前年同期比+9.8%）、負債金額が220億円56百万円（同+33.6%）となっている。

## —— 金融動向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の6月末の預金残高は、7兆2,830億円（前年同月比+10.1%）と52ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,384億円（同+0.9%）と2ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 6月の保証承諾は、件数が2,884件（前年同月比+144.2%）、保証金額が603億5百万円（同+390.4%）となり、震災復興関連で大幅に増加した。また、6月末日現在の保証債務残高は、件数が44,283件（同+2.5%）、金額が3,956億68百万円（同+12.6%）となった。一方、6月中の代位弁済は、件数が71件（同+4.4%）、金額が6億89百万円（同+61.2%）となり、件数は14ヵ月ぶり、金額は3ヵ月ぶりにそれぞれ前年を上回った。

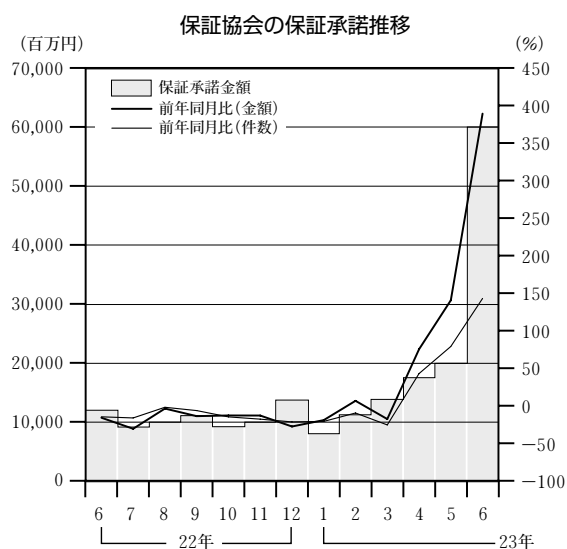
## —— 雇用動向 ——

**雇用動向** 6月の新規求職申込件数（原数値）は12,352件（前年同月比+8.4%）、新規求人数（原数値）は12,991人（前年同月比+50.0%）と、ともに3ヵ月連続で前年を上回り、新規求人数は震災復旧関連により大幅に増加した。

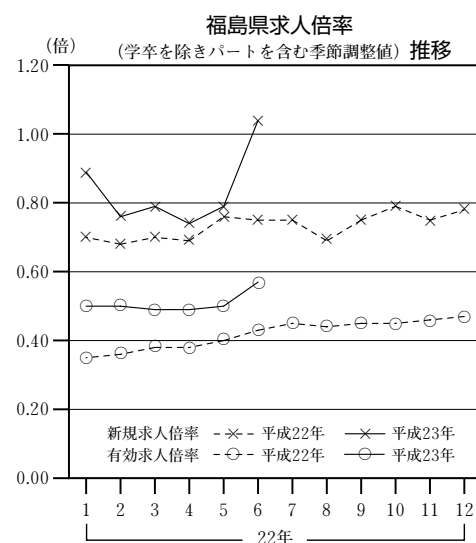
新規求人倍率は、原数値が1.05倍（前年同月比+0.29ポイント）、季節調整値が1.04倍（前月比+0.25ポイント）となり、季節調整値では37ヵ月

ぶりに1倍を超えた。また、有効求人倍率は、原数値が0.51倍（前年同月比+0.13ポイント）、季節調整値が0.57倍（前月比+0.07ポイント）となり、原数値が15ヵ月連続、季節調整値が2ヵ月連続でそれぞれ上昇した。

一方、6月の雇用保険受給者実人員は25,813人となり、東日本大震災により雇用保険給付条件が緩和されたこともあるが、厳しい雇用情勢を反映して前年同月比で+101.3%、前月比でも+8.7%となった。



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)